

# 「令和元年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」9月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

## 【栃木県の作柄概況】

図 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（9月15日現在）

1 栃木県における令和元年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は6万9,200haで、労力事情による作付中止等により、前年産に比べ100haの減少が見込まれる。

また、主食用作付見込面積は5万4,900haが見込まれる。

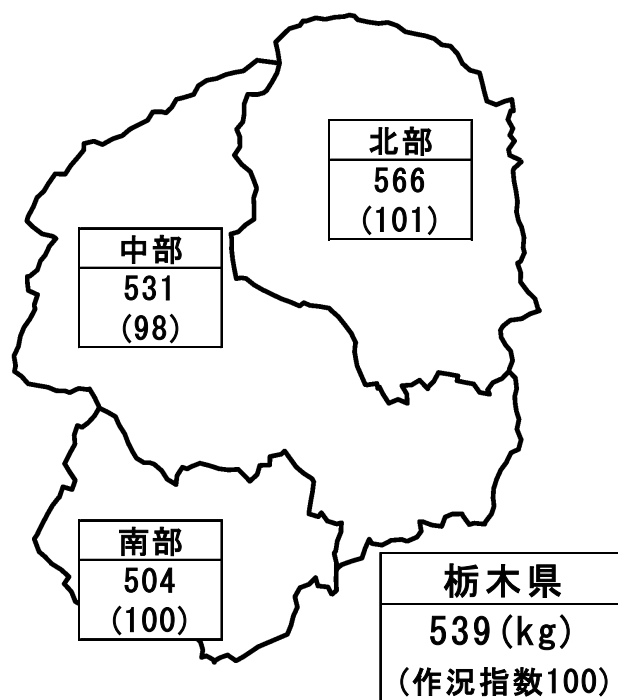
2 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数がやや多く、1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから「やや多い」となった。

3 登熟は、出穂期以降の最低気温が高く推移したことに加え、8月下旬から9月上旬の日照不足の影響により「やや不良」が見込まれる。

4 この結果、栃木県の10a当たり予想収量は539kgで、前年産に比べ11kgの減少が見込まれる。また、作柄表示地帯別では、北部で566kg（前年産に比べ9kg減少）、中部で531kg（同19kg減少）、南部で504kg（同5kg減少）が見込まれる。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された栃木県の作況指数は100が見込まれ、作柄表示地帯別では、北部で101、中部で98、南部で100が見込まれる。

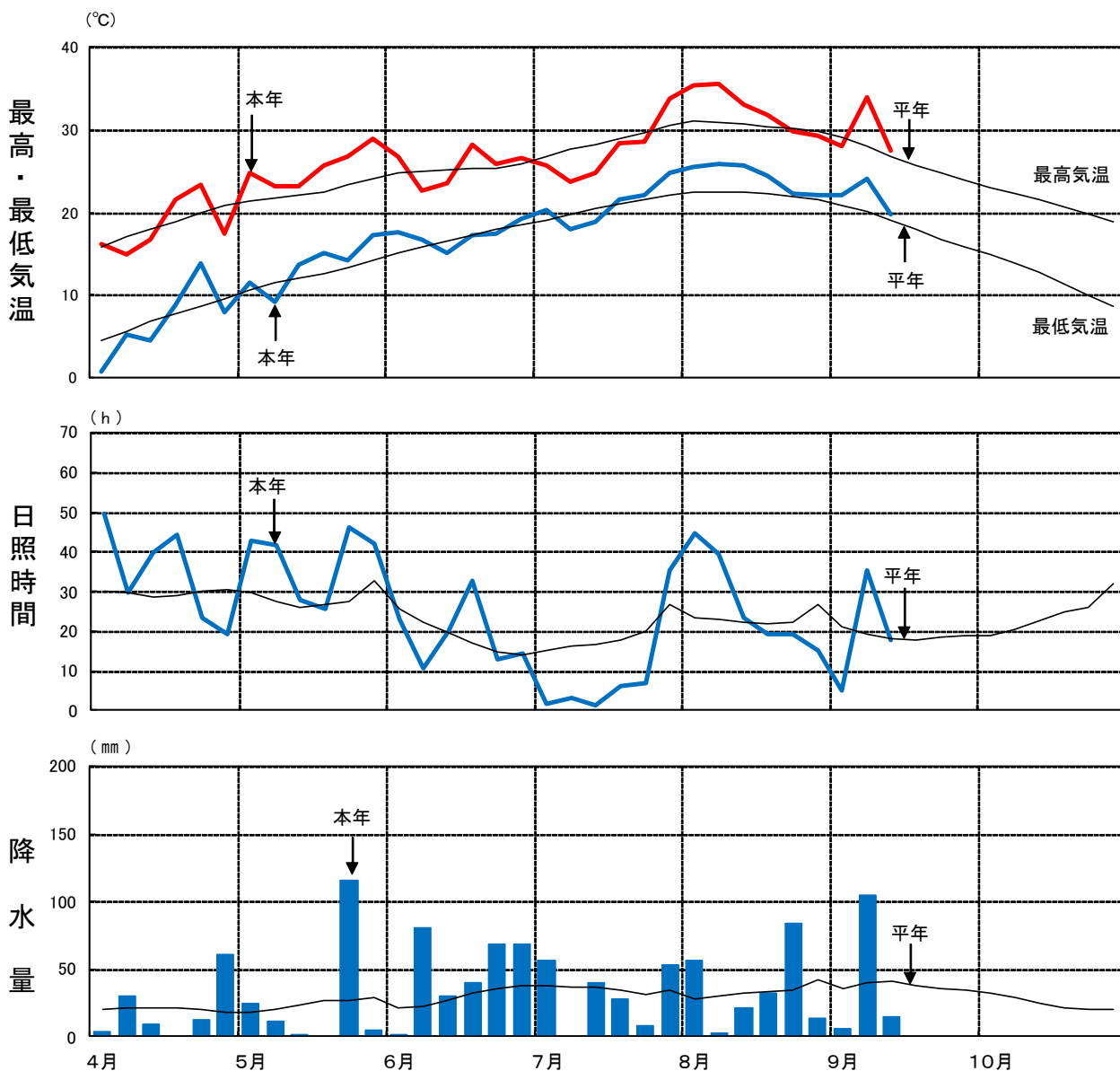
5 主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は29万5,900tで、前年産に比べ5,000tの減少が見込まれる。



○ この資料は、「令和元年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」9月30日公表の補足資料として作成したものです。詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [http://www.maff.go.jp/kanto/to\\_jyo/](http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/) 】

## 令和元年 半旬別気象（宇都宮）



資料：気象庁

$\longleftrightarrow$  田植期  
 5/8(+2)

$\longleftrightarrow$  出穂期  
 8/2(+3)

注：田植期及び出穂期の期日は、いずれも最盛期を示す。  
 なお、( )内は、平年との遅速(日数)を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について  
 関東農政局 栃木県拠点 統計チーム  
 電話：028-633-3106  
 F A X：028-633-9271